

東部方面斎場（仮称）整備に関する説明会（1回目）について（概要）

1 開催日時・場所

3月17日（土） 午後2時～午後3時 / 生麦地区センター（鶴見区）体育室

2 参加者数

14人

3 質疑内容

(1) 葬祭ホール、ご遺体を預かる安置室の設置要望

Q 1か所で通夜、告別式から火葬まで出来るよう葬祭ホールを設置してほしい。

A 皆様のご意見などを伺いながら、設置について検討していきます。

Q 冷蔵機能の付いた、ご遺体を預かる設備は設置するのか。

A 皆様のご意見などを伺いながら、設置について検討していきます。

(2) 緑化

Q 四季の草花などを植え、心休まる、気持ちが落ち着けるような斎場にしてほしい。

A ご要望の趣旨は今後の設計の中で検討していきます。

(3) 公共交通機関

Q 交通手段として、バス便やシャトルバスの運行についてどう考えているのか。

A シャトルバスの運行は考えておりません。

現在、鶴見駅及び新子安駅から市営バスが運行されています。周辺企業からはバス便の増便の要望をいただいております。今後、バス運行事業者へ増便を働きかけていきたいと考えています。

(4) 駐車場

Q 駐車場はどう考えているのか。

A この場所は、1～2mの津波が想定されているエリアです。そのため、例えば1階は柱だけにして駐車場とし、2階以上に火葬炉や休憩室を設けることなども考えています。駐車台数が足りなければ、地下駐車場も考えられますので、今後検討していきます。

(5) 余熱利用

Q ゴミ焼却場の場合は排熱を利用しているが、この斎場の排熱利用についてどう考えているのか。熱を大気へ放出するだけでは、もったいない。

A 遺体を火葬する際の排熱利用は、様々なご意見があると思います。ゴミ焼却場は24時間一定の火力がありますが、斎場の場合は火力が一定ではないため、熱の使い勝手が悪いのではないかと考えますが、研究課題とさせていただきます。

(6) 東部斎場への期待

Q 鶴見区矢向地区の住民は、ほとんどが「かわさき南部斎苑」を利用しているが、遠く、バス便も少ない。一日も早く、この斎場ができるのを願っている。川崎市以上の斎場ができるとよい。

A かわさき南部斎苑は平成16年に完成したものです。より使い易い斎場を目指していきます。